

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（株式会社広田製作所）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			行動規範のなかで人権を尊重し様々な差別やハラスメントを行わないことを社員に徹底している。 過去より雇用条件において差別はしていない。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			就業規則においてハラスメント防止を定めている。 ハラスメント防止について明文化し全社員に徹底、相談窓口設定済み。 外部講師を招いてハラスメント研修実施している。 子育て応援宣言を登録、子育てと仕事の両立を支援している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			長時間労働抑制のため、社内HPにて36協定を公開している。 残業は上司の承認が入る勤怠管理システムとした。 総務部で全社員の時間外勤務状況を管理し、各役職者にフィードバックしている。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			過去に外国人労働者採用した際は、日本人と同条件での採用をした。今後も、差別や人権侵害することなきよう体制整備継続する。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			全体朝礼等で、衛生管理者より他社事例も含め注意喚起している。工場内は5Sにより危険因子の排除に取り組んでいる。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			毎年ストレスチェックを実施、実態把握に努めている。 結果分析し、自社傾向を共有している。担当者がセミナー参加し最新情報を入手しフィードバックしている。メンタル不調者に対しては社内面談、産業医対応を展開している。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			障がい者雇用は法定雇用率をクリア、能力に応じた人事登用もある。60歳以上も継続雇用制度あり。70歳超の社員も在籍する。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			個々人の能力開発促進を重要施策とし全額会社負担で研修受講、参考図書購入対応。会社からの指名研修もあり満遍なく研修機会を与えている。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			同一労働同一賃金に基づきR6、R7年2名を正社員に転換した。公正な待遇になるよう取り組んでいる。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			健康経営優良法人認定取得し、会社として取り組んでいる。			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			エコアクション21の取組により廃棄物削減に努めている。 また指定業者に処理を依頼しマニフェストにより適正に管理している。										11.6	12		14.1				
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			電力・ガス・ガソリンについて毎月使用量を確認し全社員に周知している。							7.3					13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			エコアクション21の取組により把握。電気自動車購入など営業車のエコ対応を実践している。							7.2 7.3				12.4	13.3					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			エコアクション21の取組で、グリーン購入推進、RoHs対応製品の設計・製造に取り組んでいる。			3.9			6.3				11.6	12.4						

項目 番号	カテ ゴリ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （果などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
15	環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 （必須）			環境経営方針で生物多様性保全を始めとする環境保全活動に貢献する啓発を行い、生物に与える影響を最小限に抑えている。							6.6								15			
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 （必須）			製品輸送時に通い箱を積極的に使用し、消耗品削減に取り組んでいる。金属・紙類についても再生可能なものはリサイクル業者に対応を要請している。											13		14.1					
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			エコアクション21の取組で水資源の利用状況を把握し削減目標を掲げ取り組んでいる。						6.4 6.6												
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ （任意）			エコアクション21の取得を継続している（15年以上）。			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ （任意）			環境レポートを毎年発行し取組情報を公開している。												12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			工場屋根に太陽光パネル設置発電を行っている。							7.2						13					
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			省資源、省エネルギー型の製品設計を通して環境負荷低減に取り組んでいる。グリーン購入を環境経営方針に掲げて取り組んでいる。												12.2	13	14	15			
22	公 正 な 事 業 慣 行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			汚職・贈収賄の禁止は当然であり、社員は虚礼廃止を徹底している。行動規範に高い倫理感を保持し良識ある行動をとるよう定めている。															16 16.5			
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			行動規範に公正、透明、適正な取引により良識ある企業活動の実践と法令および社会規範の順守を定めている。																16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 （必須）			自社保有特許もあり、知的財産の創出・活用と知的財産権の尊重を、行動規範に定めている。							8.2 8.3	9										
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 （必須）			就業規則に個人情報保護の規定あり。また特定個人情報取扱規程を別に定め厳格な情報管理を求めている。また入社時に秘密保持の誓約書を提出させることで重要性が認識できる仕組みとした。																16		
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ （任意）			疑いに気が付く、外部からの照会があった場合は調査している。																	16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			取引先と会話し、当社行動規範・エコアクション21の取組に対し理解を求め共通理解として取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 （必須）		【予定】	現在実践していることを明文化するなどして今後対応する。			3					8	9	10							17	

項目 番号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (異などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			開発段階から安全に配慮した設計を心掛けている。さらに安全性確保のため、DR等によりリスクを事前に洗い出すようにしている。			3.9									12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			ISO9001を取得、認証維持している。顧客クレーム・不良対応部署(品質保証部)を設けている。								9									
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			エコアクション21、環境経営方針の基本方針にて環境に配慮した製品を設計・製造することを企業責任と定めている。						6						12	13	14	15		
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			社会インフラ(交通安全対策を含む)に対し、より安全、効果的な製品の設計開発製造に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			須坂市・須坂工業クラブと連携し様々な地域活動・教育を通して地域に与える影響を把握、対応している。				4					9		11	12		14	15		17
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			須坂市商工会議所、須坂市を通して社会貢献活動に参加している。				4							11			14	15		17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ (任意)			地域内のサプライヤーを積極的に活用している。								8	9		11	12	13				
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本 (必須)			企業理念、経営方針は明文化されており毎日の朝礼で唱和し徹底している。経営目標は期初に社内周知、毎月振り返りも周知している。								8	9								17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			行動規範を最優先とし、法令・社会規範の順守を掲げ社員に徹底している。																16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			担当はエコアクション21事務局と定め、責任者は総務担当役員としている。																16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本 (必須)			ステークホルダーとの情報交換は密に実践し、社内情報共有(経営会議など)、適切な対応を実践している。																16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			5S活動により社内リスクを洗い出している。レベル高い5Sを目指しコンサルタントの指導を受けている。																16	
41		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			CSR行動規範を社内徹底している。																16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			コロナなどに対するBCPは策定済み。今後、自然災害発生対応も検討する。									9		11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)			担当会計士、外部コンサル交え対策中。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定